

イミダクロプリド・スピノサド水和剤 ガードナーフロアブル	取扱メーカー： バイエル、ホクサン 原体メーカー： バイエル、ダウ
成分： イミダクロプリド〔ネオニコチノイド系〕……………10.0% スピノサド〔スピノシン系〕……………10.0%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 劇物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 水稻のイネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ウンカ類、ツマグロヨコバイを育苗箱への灌注処理で防除できる。
- シャワー灌水で大規模農家の省力化に貢献できる。
- 野菜を加害するアオムシ、コナガ等のチョウ目害虫やアブラムシ類、ナモグリバエ等の害虫に幅広い効果がある。
- セル苗への灌注処理なので多量の苗にも簡単に処理できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

〈畑作(セル苗)に使用する場合〉

- 定植後、高温・乾燥が続く場合は灌水する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 本剤を稲(箱育苗)に使用する場合には次の項目を守る。

○ 誤って過剰に使用したり、本剤使用後4日以上移植せずに育苗箱中におくと葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守する。

○ 軟弱徒長苗、ムレ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意する。

○ 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意する。

- キャベツ、はくさい及びブロッコリーに使用する場合、葉に黄色斑点、葉縁の褐変等の薬害が生じる場合があるが、その後の生育に対する影響は認められない。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミダクロプリドを含む 農薬の総使用回数	スピノサドを含む 農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 イネヒメハモグリバエ ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ フタオビコヤガ	100倍	育苗箱 (30×60×3cm, 使用土壌 約5ℓ) 1箱当たり0.5ℓ	移植 3日前～ 移植当日	1回	灌注	3回以内 (移植時までの 処理は1回 以内、本田での 散布は2回 以内)	1回
キャベツ	アザミウマ類 アブラムシ類 アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ		セル成型育苗 トレイ1箱又は ペーパー ポット1冊 (30×60cm, 使用土壌約 1.5～4ℓ) 当り0.5ℓ	定植 3日前～ 定植当日			3回以内 (育苗期の灌 注及び定植時の 土壌混和 は合計1回以 内、散布は 2回以内)	4回以内 (定植前 は1回以 内、本圃 では3回 以内)
はくさい	アブラムシ類 コナガ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ						3回以内 (定植時までの 処理は1回 以内、散布は 2回以内)	
ブロッコリー	アブラムシ類 アオムシ ハイマダラノメイガ コナガ						4回以内 (育苗期の灌 注は1回以 内、定植時の 土壌混和は1 回以内、散布 は2回以内)	
レタス	ナモグリバエ	200倍				3回以内 (育苗期の処 理は1回以 内、散布は2 回以内)		
	オオタバコガ		定植当日					